

# 稲垣慶成先生 安田晶彦先生

## 記念号によせて

稲垣慶成先生、安田晶彦先生のご退職にあたり、岐阜協立大学学会として、記念号を作成することになりました。

稲垣慶成先生は、1975年に南山大学経営学部を御卒業の後、1981年神戸大学大学院経営学研究科博士課程単位取得満期退学されました。その後、札幌大学経営学部、桃山学院大学経営学部でお勤めになり、1995年4月に岐阜経済大学経営学部助教授に着任され、1999年4月から経営学部教授としてご活躍いただきました。

その間、桃山学院大学在籍時代に、ベルリン社会科学研究センター客員研究員、本学在職期間中も、2000年4月～2001年3月 シュツットガルト・ホーエンハイム大学客員研究員として、ドイツに留学されました。丁度、シュツットガルトに留学されている時に、私も異文化体験旅行で学生を引率し、ダイムラー社（当時はダイムラークライスラー社）の工場など自動車工場を見学していたことから、シュツットガルトでお会いしてお話をうかがうことができたことが印象に残っています。幾度も、ドイツに留学なさっていることからわかるように、ドイツの研究者との交流も多く、本学にドイツ人研究者をお招きした研究会なども開催していただきました。

ご専門は、ドイツの企業史研究で、とくに自動車産業について研究をしていらっしやいました。著書としては、本学の助成制度を活用した単著として出版いただいた『日独自動車工業経営史』（2020年、ふくろう出版）があります。他に、共著として寄稿されているものは『ドイツ経営学研究』（1981年）、『戦後日本の企業経営』（1990年）、など多数があります。

安田晶彦先生は、1977年慶應義塾大学商学部卒業、1983年慶應義塾大学大学院商学研究科博士課程経営学・会計学専攻単位取得満期退学され、1987年4月に、岐阜経済大学経済学部に専任講師として奉職されて以来、ずっと本学一筋でお勤めいただきました。大学では、協議員や教務部長としてもご活躍いただきました。

著書もたくさんありますが、税務経理協会から2002年に出版された『現代企業経営のダイナミズム』（現代企業経営研究会編という本のなかで、「企業経営とPCソフトウェア製品」という1つの章を担当されているのが代表的なものかと思われます。こうしたソフトウェアの活用に関する研究や、授業では様々なアプリケーションについてご指導いただきました。本学の情報教育の推進にもご尽力いただき、大垣地域産業情報研究協議会の仕事にもご尽力いただき、「大垣事業所データベース構築に関わる調査報告書」にも度々寄稿いただきました。

授業では、映像編集の授業なども担当され、本学の『岐阜経済大学論集』には「ビジネスウェブサイトの色彩調査と分析」といったご寄稿もいただきました。映像編集や音楽への造詣が深く、一時期、本学の卒業式では、安田先生が編集され独自に音源も制作された卒業記念ビデオが上映されていたことを多くの皆さんのご記憶にあると思います。また、本学の代表的な行事であるゼミナール大会では、安田先生のゼミ生を指導していただいて、すべての発表会場で記録映像を作成するお手伝いをいただいていたと思います。

以上のように、お二方とも、それぞれの特別なお力を活かしていただき、本学の発展に寄与していただいていたわけですが、そのようなお二方が退職されることは、世間の決まりとはいえ、残念なことであります。お二人が、健康に留意され、退職された後もますます御活躍されることを祈念いたしますし、引き続き、本学を見守っていただきたいと考えています。

岐阜協立大学学長 竹 内 治 彦  
岐阜協立大学学会会長